

【本稿について】

本資料は、2004年に雑誌『ISIS』へ寄稿した際の執筆元原稿をPDF化したものです。出版社での編集・調整を経る前の原稿であるため、実際の掲載内容とは一部表記が異なる場合があります。また、内容は執筆当時の情報に基づいています。

Choose Cruelty-Free Life

動物にもやさしい商品を選びたい。

動物実験しないで作られた商品はどれですか？

私たちの身の回りの品の開発のため、動物の命を使って実験が行われ、犬、猫、猿、うさぎ、ハムスターをはじめ、たくさんの動物が苦しみ殺されていることはあまり知られていません。

欧米で始まった動物実験ですが、ここ数十年、動物実験への疑問の声が高まり、欧米を中心様々な動き、試みがあります。

化粧品

商品の開発

商品の開発において、原材料の段階から、委託も含め動物実験をしていないことを認定する基準があり、この基準を満たした企業は動物福祉を配慮している企業と認定されます。

CCIC (Coalition for Consumer Information on Cosmetics)により認定され、基準を満たした製品にはウサギのマーク (<http://www.leapingbunny.org>) が貼られ、消費者も選択しやすくなっています。

動物使わなくても商品ができるの？

安全性の確認方法は企業に任されています。すでに安全性が確認されている成分だけを使えば動物実験は必要ありません。動物を使わず安全性を確認する方法があります。代替法と呼ばれ、欧米を中心に進められています。

動物に多大な苦しみと痛みを与える動物実験に代わり、動物の犠牲を減らすだけでなく、コスト面、正確性などから代替法は一層進んでいくと思われます。代表的な代替法には培養細胞を使うフレイム法や植物から抽出した試薬を使うアイテックスがあります。

進む欧米での法規制

特に EU の国々では化粧品の動物実験を法律で規制する動きが出てきています。

■オランダ

1997 年 動物実験法により、化粧品の新製品開発、既存の製品の動物実験を禁止。

■ドイツ

1998 年 動物保護法により、タバコ、洗剤とともに、化粧品開発のための動物実験を原則禁止。

■イギリス

1998 年 化粧品の安全性関連の法律によって、化粧品の原料から完成品にいたるまでの動物実験を禁止。

■オーストリア

1999 年 動物保護法により化粧品の動物実験を禁止。

■スイス

成分に関してではないですが、化粧品の完成品に関する動物実験を禁止。

■E U の動き

E U議会は、化粧品のための段階的な動物実験廃止について合意しています。

最終決定では、2009 年に E U 内における化粧品の動物実験の禁止、および動物実験された化粧品の販売禁止を実施することが決まっており、それまでは、商品ラベルに動物実験実施の有無を表示していくことになっています。(一部毒性試験は 2013 年まで)

動物実験をしていないメーカーはどこ？

ザ・ボディショップ、ラヴェーラ、ミス・アプリコット、LUSH、太陽油脂、オーブリー・オーガニクス、リマナチュラル、しゃぼん玉石鹼、生活の木、ナチュラルハウス、オリジンズなどは動物実験していません。下記に実験していない化粧品メーカーを列挙します。

(JAVA コスメガイドをご覧ください)

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/java-goodsstore/cg-6.html>

動物に優しいメーカーは、イコール環境にも優しいです。必然的にそうなるんです。

安全性に疑問が残る石油製品ではなく自然で昔から安全で使われてきた成分を使っているからです。美しくなるなら、動物や環境に優しいメーカーの商品できれいになりましょう。